

第3章

2040年のまちの姿

社会を取り巻く状況が劇的に変化し続けている中では、目の前の課題だけにとらわれず、長期的な視点を持って進むべき未来の方向性を定める必要があります。

社会環境の大きな転換点となる令和22年(2040年)の日本の状況、山形市の状況を展望した上で、令和22年(2040年)の山形市の目指すまちの姿を定めます。

健康医療先進都市・文化創造都市を確立し、 選ばれるまちとなる

地域資源を活かした都市ブランドの確立

山形市が持つ健康医療資源及び文化芸術資源は、他の都市にはない強みを持っています。

健康医療資源については、全国にわずか82しかない大学医学部・医科大学が山形市に立地していること、北海道・東北で唯一の重粒子線がん治療施設があること、人口あたりの病院・診療所数が多いことなど、全国的に医療資源の不足や医療崩壊が心配されている中で極めて有利な点です。加えて、安全でおいしい食、身近にある温泉、豊かな自然環境など健康にまつわる要素もたくさん持っています。

また、文化芸術資源については、山形国際ドキュメンタリー映画祭や山形交響楽団など、身近に世界・全国クラスの文化芸術を体験できる環境や茶道、華道、書道など様々な伝統文化が根付いているほか、全国でも数少ない芸術系大学である東北芸術工科大学があり、そして、全国で11都市のみ認定されているユネスコ創造都市ネットワークの加盟都市であるなど、全国でも類い稀な豊富な文化芸術資源を持っています。

こうした地域資源の強みを活かし、市民・事業者・行政が一体となって、「健康医療先進都市・文化創造都市」の確立に向けた取組を進めた結果、「**健康医療先進都市・文化創造都市**」の都市ブランドが確立し、山形らしさが輝いています。

健康医療先進都市



文化創造都市

「健康医療先進都市」としては、山形市独自の考え方である「SUKSK生活」が浸透し、市民の自発的な健康づくり活動が促進されるとともに、様々な健康づくり施策が医療・福祉・子育て分野などと幅広く連携することで、年齢を重ねてもいきいきと役割をもった生活を送る人が増えています。健康寿命の延伸に向けた環境づくりも進展し、中心市街地の回遊性が向上するなど「歩くほど幸せになるまち」が確立するとともに、医療機関や研究機関、企業等との連携により、健康医療産業が活性化し、山形市に暮らす人、訪ねる人、関わる人が自然と健康になるまちづくりが進展しています。

「文化創造都市」としては、先人から受け継がれてきた多彩で豊かな文化を継承する担い手が育ち、歴史や文化を活かしたまちが形成されることで、市民が歴史や文化に誇りを持ち、文化活動や文化から新しい価値を創出する活動が活性化しています。さらに、山形市にクリエイティブな人材や企業を誘致することにより、企業活動において創造性が活かされ、産業の振興が図られています。

このように、2大ビジョンのブランド化が進み、山形市の都市ブランドとして広く認知されています。

顕在化する課題への対応

地域資源を活かした都市ブランドを確立するとともに、人口減少対策をはじめ、顕在化してくる課題にしっかりと対応しています。

人口減少対策では、出会いから結婚支援、妊娠、出産、子育てに至るまでの切れ目のない支援による、結婚や子を持つことの希望を叶えられる環境づくり、魅力ある雇用の創出、若者や女性が働きやすい職場環境づくり、ジェンダーギャップの解消、積極的なシティプロモーションによる移住定着の促進、関係人口・交流人口の創出を図るなどの「自然減対策」と「社会減対策」の両輪の取組により、人口減少が抑制されています。

高齢化率が上昇していく中、医療・介護・生活支援の充実及び地域コミュニティの活性化を図ることにより、高齢者を含め多くの方々が住み慣れた地域でいきいきと暮らしています。

一方で、人口減少下であっても、各産業基盤の整備・振興、人材の確保・育成を図り、市民一人ひとりの稼ぐ力の向上、DXや先進技術の積極的な活用による省力化により生産性や付加価値を向上させることで、社会経済の活力を維持しています。加えて、都市機能・居住が適切に誘導及び集積されていることで、持続可能な都市構造が維持されているとともに、山形市国土強靱化地域計画により、社会インフラが適切に維持され「強さ」「しなやかさ」を備えたまちが形成されています。

また、防災意識の高揚を図る取組の結果、災害時には自助・共助・公助支援が効率的に行われ、被害を最小限に抑えられるとともに、その後の復旧に向けたレジリエンス(回復力・復元力)が高まり、安全・安心に暮らせるまちが形成されています。

選ばれるまちとなる

地域資源を活かした都市ブランドの確立及び顕在化する課題への対応などの取組によって、市民や市外の方にとっても、山形市がさらに個性的で魅力的なまちとなっています。そして、地形的に恵まれた安全・安心なまち、平和なまちとして、「山形市に行きたい、働きたい、学びたい、そして住み続けたい」など、山形市を求める人々が増え、経済社会活動や観光等、人流がより活発になる、「選ばれるまち」となっています。



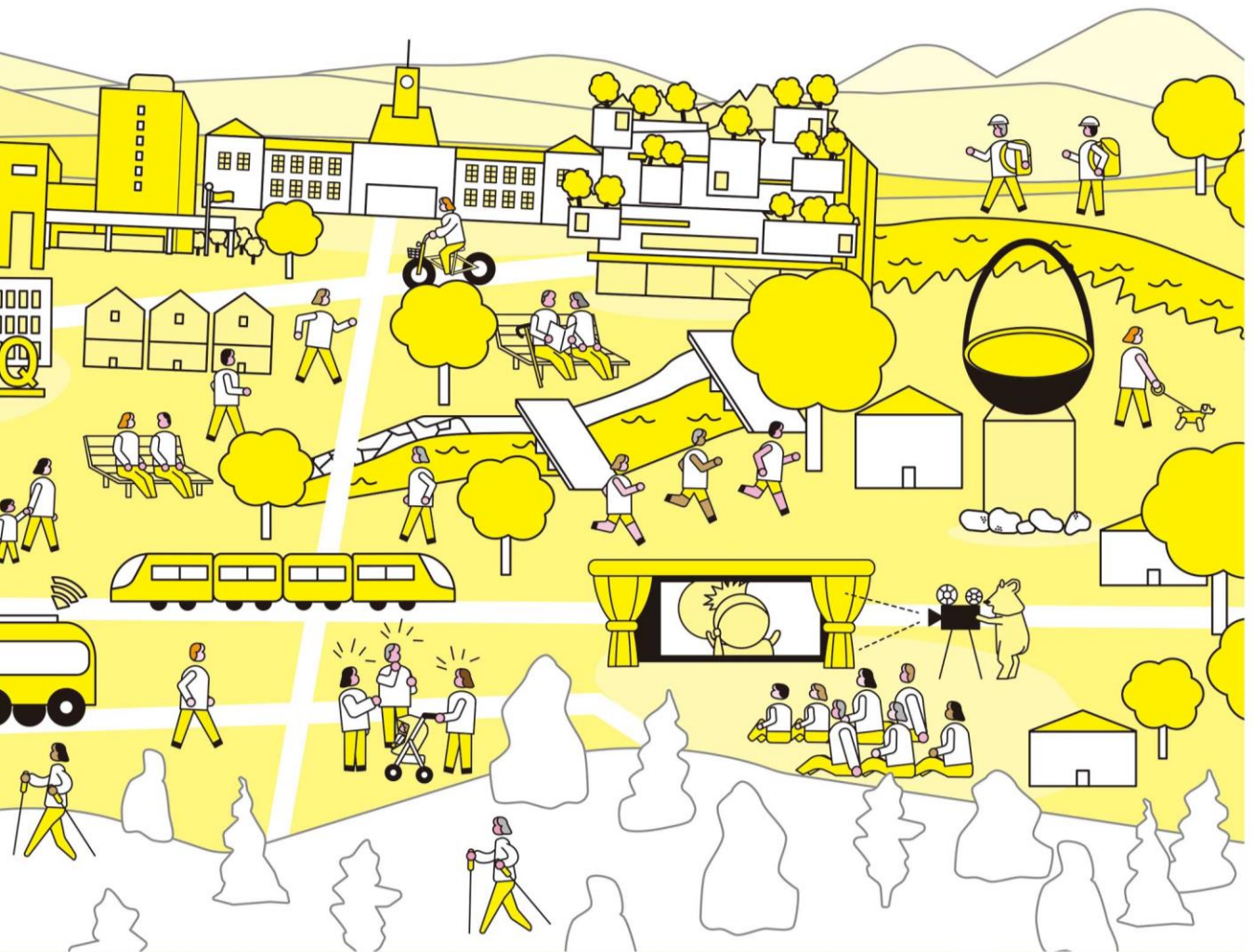


まちをつくる

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| 01 公共交通 | 「まち」「ひと」「しごと」公共交通が全てを繋ぐまち |
| 02 都市整備 | 誰もが安全に安心して、心地よく快適に住み続けられるまち |
| 03 中心市街地 | 歩くほど幸せになるまち |
| 04 防災 | 防災はみんなの力、安全はみんなの笑顔、安全・安心の絆でつながるまち |
| 05 コミュニティ | 市民や地域のコミュニティが活発なまち |
| 06 環境 | 一人ひとりが限りある資源を大切にする循環型の自然豊かな美しいまち |

ひとを育む

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 07 教育 | 豊かな学びや体験を得て、質の高い教育を受けることのできるまち |
| 08 こども | こどもの笑顔が未来をつくる、子育てが楽しいまち |
| 09 健康 | 誰もが健康で生きがいと役割を持って、地域の中でいきいきと暮らすまち |
| 10 医療 | 安心して医療が受けられる暮らしやすいまち |



ひとを育む

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 11 福祉 | 困っている人、悩んでいる人を誰もほっとかないホットするまちHOTなまち |
| 12 文化 | 身近にあるクリエイティブに出会えるまち |
| 13 スポーツ | スポーツ熱の高い健康で活気あふれるまち |

豊かにする
しごとを

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 14 商工 | 産業の振興と働きやすさがつなぐ、未来をひらくまち |
| 15 観光 | 暮らしと観光がつながり、何度も訪れたい感動体験を生み出すまち |
| 16 農林 | 豊かな自然とおいしい食を未来につなぐ、みどりの循環するまち |
| 17 男女共同参画 | 性別に関わらず多様な人材が活躍し、多様な価値観が尊重されるまち |
| 18 シティプロモーション | 山形ブランドが確立し、高いブランド力で選ばれ続けるまち |

未来へつなげる行政経営

- | | |
|-------|-------------------|
| 19 行政 | 発展計画を推進するための基盤づくり |
|-------|-------------------|

